



令和7年1月17日（金）

“美郷の子どもたちと作る”「創作影絵上演会」の開催について

バリの町づくりの一環として、全国で活躍する影絵師「川村亘平斎（かわむらこうへいさい）」氏をお招きし、美郷町に伝わる伝承や文化を基にした創作影絵を上演します。

川村さんは、インドネシアバリ島の伝統芸能である影絵「ワヤン・クリット」を学び、それを現代的な文脈で捉え直し、日本全国で影絵公演をしておられます。

今回のイベントは、令和6年8月に行った、川村さんと美郷の子どもたちの町内フィールドワークの続編となるもので、子どもたちも影絵人形の制作から出演まで行います。

川村さんの影絵上演はなかなか見ることが出来ない貴重なものですので、お時間あれば是非ご取材いただきますよう、ご案内致します。

●本番までのスケジュール

- ・1月21日（火）16：30～
影絵制作ワークショップ（邑智地域） 場所：みさと館 町民ホール
- ・1月22日（水）16：30～
影絵制作ワークショップ（大和地域） 場所：都賀西基幹集落センター
- ・1月23日（木）16：30～
ワークショップ予備日 場所：みさと館 町民ホール
- ・1月24日（金）16：30～
リハーサル 場所：みさと館 町民ホール
- ・1月25日（土）
10：00～ リハーサル 場所：みさと館 町民ホール
13：30～ 本番 場所：みさと館 町民ホール

※子どもの人数は22日の方が多いです。

※23日の予備日は開催しない場合があります。

（お問い合わせ）

美郷町役場 企画推進課

バリの町室 TEL：0855-75-1924

～子ども達と作った完全オリジナル作品～

美郷の伝承の

創作影絵芝居

激レア
公演!!

演目名 「ウミクジラ
ヤマクジラ」

▲今年8月にみさと館で川村さんが披露した影絵の様子

日本には、昔から紙や木で作った人形や、手など体の一部を使って行う影絵芝居があります。実はバリ島にも、「ワヤン・クリット」という伝統的な影絵芝居があることを知っていますか？

「ワヤン」とは“影”、「クリット」は“皮”を意味し、本来は動物の皮を加工して作った操り人形を使って影絵芝居を行います。

この度、全国各地で活躍する影絵師「川村亘平齋」さんと美郷町の子ども達がこの技法を使って、美郷町の伝承を基に創作した話を影絵で表現します。

お話は都賀本郷の「くじら石」をモチーフとし、「山くじら」や「石見神楽」など美郷町に伝わる伝承や文化などの要素を取り入れて作った話です。

幻想的な空間の中で、皆さんが知らない美郷町の物語が聞けるかもしれません。

さあ、美郷の伝承の影絵芝居、はじまりはじまり・・・

日時：令和7年1月25日 **土** 13:30～14:30

場所：みさと館 町民ホール（申込不要、入場無料）

島根県邑智郡美郷町粕淵 168 番地（美郷町役場横）

主催・問合せ：美郷バリフェスティバル実行委員会（美郷町企画推進課内）
（TEL:0855-75-1924）

裏面に講師の紹介 →

影絵師・音楽家

かわむら

川村

こうへいさい

亘平齋



インドネシアバリ島
伝統影絵「ワヤン・
クリット」を現代的
な文脈で捉え直し、
新たな芸能の形を模
索し続ける影絵師。
世界各国で影絵と音
楽のパフォーマンス

を発表し、日本各地でもフィールドワークやワー
クショップを行い、土地の記憶を手がかりに数多
くの影絵作品を製作。その他切り絵、イラストや
壁画、映像製作、映画・CM等への楽曲提供など、
幅広く活動を行っている。
ガムランを使った音楽ユニット『滞空時間』の主宰。

【受賞歴】

平成28年 第27回五島記念文化賞美術新人賞受賞
令和3年 北海道庁主催『北の絵コンテ大賞』受賞

【近年の主な出演・発表作品】

2020年 / NHK Eテレ: 「こころの時代」影絵演出
2021年 / 富山県: スキヤキ meets the world 2021
2022年 / テレビ東京: 「東京交差点」出演
2022年 / 東京芸術大学: ストラヴィンスキー「兵士の物語」出演
2023年 / 東京芸術大学ほか: 「空飛ぶウサギとサンゴの樹」制作・発表
2024年 / 富山県南砺市: 文化施設「metisse」壁画制作
2024年 / 影絵アニメ「鯨沢怪異譚」制作・発表
2024年 / FUJI ROCK FESTIVAL' 24 出演



川村氏HP